

(第三種郵便物認可)

【沖縄】琉球通運（喜納秀智社長、那覇市）では、SDGsの活動名称を「GREEN RABBIT（グリーンラビット）」とし、SDGs活動に積極的に取り組んでいる。日本でも年間約621tもの食料が廃棄されており、それは東京ドーム5杯分に相当する量になる。メーカーが製造するパンの余剰生産分を買い取り、職員へ菓子パンの提供を行う。配布頻度は週に1回、約350個が配布されるという。さらに同社では、

# 食品ロス削減へ

## 琉球通運のSDGs活動

に取り組んでいる。同社では今回、「食品ロス削減」に向けた啓蒙活動の一環として、余剰製造されたパンの有効活用を10日から開始した。世界では食糧生産

と言われている。同社は、食品ロス対策に貢献すると同時に食品を扱う物流事業者として、高い意識を持つためにこの活動をスタート。同取り組みでは、

一人ひとりの意識を高めるために、取り組みに関わる掲示物を掲示、社内新聞や情報発信ツールを活用するなど、今後、社内全体で意識向上を図っていくとしている。（越後桃子）



菓子パンを持つ従業員